



高梁市教育大綱 (第4次高梁市教育振興基本計画) について

教育大綱（第4次高梁市教育振興基本計画）について

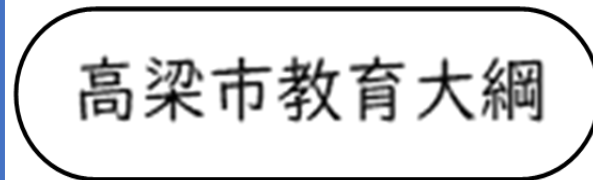
1. 前回の総合教育会議までの振り返り

【第4次高梁市教育振興基本計画の策定】

- ・教育基本法第17条第2項に基づき策定
- ・現計画の計画期間…R3年度～R7年度
- ・高梁市総合計画を上位計画とし、
高梁市**教育大綱**を指針とする



- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき定める
- ・現大綱の期間(R3年度～R7年度)
- ・市長が策定
あらかじめ**総合教育会議**で協議



指針



参考

1. 前回の総合教育会議までの振り返り

【総合教育会議での経過】

回・日時	議 題	内 容
第1回 R7.6.25	高梁市教育大綱の 改定について	教育大綱改定案を提示 教育振興基本計画策定検討委員会の意見も踏まえ最終案を提示予定
第2回 R7.11.4	第4次高梁市教育振興 基本計画について	教育振興基本計画策定検討委員会（第2回まで）で協議した骨子について

【第4次高梁市教育振興基本計画策定検討委員会での経過】

回・日時	議 題
第1回 R7.8,21	第3次高梁市教育振興基本計画における成果や課題について 第4次高梁市教育振興基本計画の概要について
第2回 R7.10.2	第4次高梁市教育振興基本計画の骨子について
第3回 R7.11.27	第4次高梁市教育振興基本計画（素案）について 今後のスケジュールについて

【第3回総合教育会議】 教育大綱の最終案を協議 ⇒ 市長が策定

2. 教育大綱(案) 【令和8年～12年度】

基 本 目 標

【国;コンセプト】

- 持続可能な社会の創り手の育成
- ウェルビーイングの向上

一人ひとりの幸せとよりよい社会を実現する人づくり

- 心豊かにたくましく学び続ける人
- 自立し社会に参画できる人
- 志をもち挑戦する人

- ・各世代に向けてのイメージを強調
- ・具体的で誰もがわかりやすい
- ・今までと同じではない
- ・「健幸都市たかはし」と合致

(1) 未来を拓く学びと育ち

- ① Society5.0の時代に活躍できる力を育てます
- ② 多様な体験を取り入れた探究的な学習を展開します
- ③ 心の教育を充実し、多様な教育ニーズへの支援に努めます
- ④ 一人ひとりの自立を目指した特別支援教育を推進します
- ⑤ 健やかな体づくりと食育を推進します
- ⑥ 地域と連携・協働し、活力ある学校・園づくりに努めます
- ⑦ 就学前から小・中・高、大学までを見通した教育を推進します
- ⑧ 地域に応じた教育体制づくりを進めます
- ⑨ 学校園等施設・設備の環境整備を図ります

(2) 学び・文化・スポーツを通じた 共に生きる社会の創造

- ① 誰もが楽しみ学び続ける生涯学習活動を推進し、学びの輪を広げます
- ② 社会教育施設の魅力を高めていきます
- ③ 地域と家庭、学校、行政が協働し、まち全体で子どもを育む環境づくりを進めます
- ④ 人権を大切に作る共生のまちづくりを進めます
- ⑤ 地域文化・芸術活動を振興します
- ⑥ 文化財の保護・保存と有効活用を図ります
- ⑦ ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します
- ⑧ スポーツ施設を活用した広域的なスポーツ交流を推進します

3. 教育振興基本計画策定検討委員会での主な意見

	議事内容	意見
第1回 (8/21)	第3次高梁教育振興基本計画における成果や課題について	<ul style="list-style-type: none">・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒数の割合の数値が下がっていることが気になる・ 地域住民の団体は、多くの分野で高齢化や担い手不足、指導者育成等の課題を抱えており、その支援や連携の在り方自体に疑問を感じる・ 図書館の機能の観点からみると利用者が離れないように非常に充実した機能を果たしているが、近隣への産業振興への役割までを課題として掲げるのは違和感がある
	第4次高梁市教育振興基本計画の概要について	<ul style="list-style-type: none">・ これからの時代の視点として、ウェルビーイングや多様性という方向性が重要であり、それが基本方針に反映されていた・ 具体の計画では、再編が進む中で、地域密着型の学習機会が失われないように配慮をお願いしたい・ 「ふるさと」や「地域」といった言葉がなく、「社会」という大きな言葉に置き換わっている印象を受けた・ どのような社会を「よりよい」と考え、どのような市を目指すかの具体像があった方が良いと思う

3. 教育振興基本計画策定委員会での主な意見

	議事内容	意見
第2回 (10/2)	第4次高梁市教育振興基本計画の骨子について (各施策についての主な取組について説明)	<ul style="list-style-type: none">・ ICT教育が重要視される中、情報を正しく見極めるリテラシー教育がより重要ではないかと考える・ グローバル人材の育成は、世界と渡り合える人間性を持った人材を育てることを本質としており、英語に特化しすぎることは慎重であるべきではないか・ 探究的な学習や地域との連携では、教職員の育成と地域側の人材育成の両方が進んでいくことが必要で、こうした観点がしっかり盛り込まれていることが望ましい・ 特別支援教育も、よりインクルーシブという方向性に变化しているため、少し未来志向的な表現をいれてはどうか・ 地産地消は、食育の一環としても位置付けた方が良い・ 人材育成が大前提にあるのは理解するが、組織体制を整えるといったことも、前提にとらえられる方がよいのでは・ 子どもだけでなく、大人の郷土愛や郷土学習も非常に重要で、すべての世代が高梁を愛せる施策をお願いしたい・ 多文化共生は外国人との交流だけが多文化共生ではなく、外国住民との共生という視点があれば基本的に人権教育にあたる

3. 教育振興基本計画策定委員会での主な意見

	議事内容	意見
第3回 (11/27)	第4次高梁市教育振興基本計画（素案）について	<p>【基本方針1】</p> <ul style="list-style-type: none">・グローバル人材の育成は英語だけでなく、国際的で主体的に活躍できる人を指す・「将来の夢や目標」を子どもたちに作らせるというのは、個人的には好ましくないと考えており、行動面での取り組みの方が自然だと思う・不登校は単に学校に来ないということだけで測れないため、指標として「学校に来ること」を基準にした目標は従来の感じる・施策4において、基礎的環境整備、合理的配慮といった表現を主な取組の中に盛り込む方がよい・施策5の中で「平均1時間以上スマートフォン等でSNSや動画視聴をする割合」がKPIにあげられているのはスマホ等を使用した学習など導入されている中で大きな目標と一致しないように感じるため、目標の立て方について検討を・施策5でスポーツが好きな子が増えるだけで本当に体力の向上になるのか疑問・今回の計画では、5年後の指数が第3次計画に比べてやや消極的な印象がある

3. 教育振興基本計画策定委員会での主な意見

	議事内容	意見
第3回 (11/27)	第4次高梁市教育振興基本計画（素案）について	<p>【基本方針2】</p> <ul style="list-style-type: none">・施策1の若者の定義をどうするかは検証に影響する・指標として、事業数だけで良いのかも疑問で、事業を行うだけでなく、参加者を含めて考えるべき・行政外の地域活動がKPIに反映されないのはもったいない・人口減少の中での維持も大切ではあるが、ある程度目標指数を大きくしても良いのでは・人口減少を課題というよりは、自然なトレンドととらえるべきで、「よりよく生きる」ための目標や行動を考えることが必要 <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none">・目標指数を達成することだけが目的ではなく、そこに至るまでの議論や取組などが本来の目的であり、その背景や思いも重視すべき・市民が計画や指標を見て「頑張ろう」と思える前向きな内容であることが最も大切・計画づくりに終わらせず、どう実行し、どう管理していくのか体制づくりも含め検討していただきたい